

## スタッフ便り

5年ほど前に、「5GにはWi-Fiも含む」「これからはセルラーとWi-Fiの融合だ」といった話を聞いて、世界の通信業界でさえ大勢が半信半疑でいたものです。日本をはじめとするアジア各国の業界や政策はセルラー偏重と言われていて、携帯電話会社から「うちはWi-Fiはやらない」といった発言もありました。現在でもこの傾向は変わらず、セルラー網だけでよいのではないかと言われたりします。ところが、いざセルラーの5Gサービスが始まってみると、ミリ波よりも届きやすいSub6でさえ建物に入りにくいという状況が見えてきます。なるほど、こういうことかと、それまで自分の中でも煮え切らない感覚が残っていた融合路線が、急に現実味を帯びてきました。幸いにもBeyond 5Gのプロジェクトに参画することができたので、セキュア公衆無線LANの方から5Gを支え、ICT社会のインフラの構築に寄与できたらと、気力が沸いてきました。多くの事業者や自治体との協働できることを願っています。(後藤英昭)

今年の4月に仙台に越してきました。部屋に観葉植物は必ず置こうと決心していたので、ホームセンターで観葉植物を観ていると惹かれた植物がありました。フィカス・バーガンディとドラセナ・コンシンネという観葉植物です。(ぜひ調べてみてください。)観葉植物は比較的耐陰性があり、乾燥にも強いのだろうと手を抜いた矢先、葉が床に着いていました。育て方について調べたところ、日光浴や水やり以外に観葉植物用の活力剤があるということを知り早速与えたところ、1週間ほどで葉が重力に逆らいはじめ、今では上を向いています。(もちろん、水やりの頻度や日光浴の時間も意識しました。少し遅めですが、..)

これまで育てていた植物は30cm程でしたが、150cm程の2つの観葉植物を加えました。現在の製造技術は素晴らしいですね、遠くから見たらあたかも本物かのようなフェイクグリーンが販売されていたので、これらを採用し、今では涼しげな部屋となっています。仙台に住んで3ヵ月が経ちました。次は1m程の植物を置きたいと思っています。味を占めてまたフェイクグリーンを購入してしまいそうですが、本物で。このペースだと1ヵ月に1つ以上の植物が加わる計算なので、これからは植物を増やしすぎて部屋が森にならないように気を付けながら、植物たちに元気に育ってもらえるような管理能力と愛情を持てれば良いなと思います。(K.K)



### SENAC 編集部会

滝沢寛之 水木敬明 後藤英昭 高橋慧智  
今野義則 早坂和勝 大泉健治 小野 敏  
斉藤くみ子

令和4年7月発行  
編集・発行 東北大学  
サイバーサイエンスセンター  
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3  
郵便番号 980-8578  
PDF作成 株式会社 東誠社